東福保育園　　0　歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	果物の形をしたセロファンに触れる。

2026年　1月　26日（月）

子どもの姿	・興味を持った色のセロファンを持ち、嬉しそうにする。 ・果物ということに気づき、食べるまねをする。 ・ライトテーブルの上にカラフルな果物を置き、覗いて見る。
「問い」を考える	・セロファンが透けることに気づいた時、どのような表情を見せるか。
活動をデザインする	・食べるまねやライトテーブルにセロファンを置くなど、遊び方のヒントを与える。
環境をデザインする	・ライトテーブルに置くと影が写ったりして色の違いが分かりやすくなる。
小グループを構成する	・登園人数が6名と少ない日だったので、全員で行う。
振り返り	ライトテーブルに置いてあるセロファンに気づくと、気に入ったセロファンを嬉しそうに持っていた。果物の周りを黒い画用紙で囲ったことにより、色がはっきりと見える気がした。さらにライトテーブルに置くと、より色が映えて色の違いが分かりやすかった。子どもたちは果物を認識してきているので、身近な果物を用意したが「ナナ！(バナナ)」などと発語する姿も見られた。まだ「色」を認識したりすることはできないが、今回使用したセロファンのように色のはっきりした物や絵本などを通して、今後も日常の中で様々な色に触れていけるようにしていきたい。

子どもの言葉・姿	写真
・ライトテーブルの上にセロファンが置いてあることに気づくと、「あ！」と言いながら指をさして触りに行く。 ・目に入ったセロファンの果物を複数手に持ち、嬉しそうに保育士に見せる。 ・セロファンが透けることに気づくと、目元に当てて友だちや保育士の方を見る。 ・友だちの目元にセロファンを当てて、覗き合う。 ・セロファンがバナナやブドウ、リンゴということに気づくと手でつまんで食べるまねをする。 ・バナナの形をしたセロファンを指さして、「ナナ！ナナ！」と言う。 ・保育士の口元に果物を持って来て食べさせようとする。 ・保育士が「おいしいね」と言うと、ほっぺに手を当てて「おいしい」の仕草をする。 ・保育士が窓に果物を貼るとまねして貼りたがる。 ・窓に貼ったセロファンが床に映っていることに気づくと、床をつまんで食べる振りをする。 ・床に映っている部分を足で踏む。 ・自分の服に鮮やかな色が映っていることに気づくと、不思議そうに指でなぞる。	